



2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月14日

上場会社名 株式会社 I D O M 上場取引所 東
 コード番号 7599 URL https://221616.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽鳥 由宇介
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務・IRセクションリーダー (氏名) 松本 雅之 TEL 03 (5208) 5503
 四半期報告書提出予定日 2020年7月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の連結業績 (2020年3月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	83,724	△7.2	△153	-	△552	-	△914	-
2020年2月期第1四半期	90,206	26.3	1,510	298.6	959	826.0	447	-

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 △1,001百万円 (- %) 2020年2月期第1四半期 △253百万円 (- %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	△9.06	-
2020年2月期第1四半期	4.41	-

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式がないため、記載していません。

2. 2020年2月期連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年2月期第1四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第1四半期	180,936	41,126	22.5	404.89
2020年2月期	183,783	42,586	22.9	415.42

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 40,653百万円 2020年2月期 42,126百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	-	0.60	-	0.60	1.20
2021年2月期	-	-	-	-	-
2021年2月期 (予想)	-	5.30	-	5.30	10.60

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想 (2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	156,000	△13.0	1,100	△76.2	250	△93.1	100	△95.3	0.99
通期	338,000	△6.5	5,800	△36.2	4,100	△40.3	2,700	△23.9	26.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期1Q	106,888,000株	2020年2月期	106,888,000株
② 期末自己株式数	2021年2月期1Q	6,480,571株	2020年2月期	5,480,571株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期1Q	100,896,559株	2020年2月期1Q	101,407,445株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実績の業績等は様々な要因により上記業績予想とは異なることがあります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年5月31日)における国内直営店の小売台数は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い政府や地方自治体から外出自粛が要請された環境下においても、34,769台(前年同期比1.9%増)となりました。

一方で、一時的(4月から5月中旬)な小売価格の引き下げにより、小売台あたり粗利が減少しました。また、4月、5月のオークション相場の急激な下落により、卸売台あたり粗利が減少しました。

販売費及び一般管理費は、広告宣伝費の削減等のコストコントロールを実施したことにより、減少しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、政府及び各自治体から発出された自粛要請や緊急事態宣言を受け、日本及び豪州における店舗の営業時間短縮や臨時休業を実施しました。この臨時休業等期間中に発生した固定費等を感染症関連損失として特別損失に計上しました。

当社では、新型コロナウイルス感染症に関する社会貢献活動として、日本全国約500の店舗網を活用し、医療従事者をはじめとする全国1万名の方に対し、当社が所有する車を最大3ヵ月間、無償提供する取り組み「Gulliverクルマ支援」(#Save Moving)の展開を開始しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の実績は、売上高83,724百万円(前年同期比7.2%減)、営業損失153百万円(前年同期は営業利益1,510百万円)、経常損失552百万円(前年同期は経常利益959百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失914百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益447百万円)となりました。

地域セグメント別の業績は以下のとおりです。

①日本

売上高68,031百万円(前年同期比4.1%減)、セグメント損失(営業損失)136百万円(前年同期はセグメント利益(営業利益)1,827百万円)となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、来店客数が減少したことから減収減益となりました。

②豪州

売上高15,216百万円(前年同期比19.2%減)、セグメント利益(営業利益)172百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)171百万円)となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、来店客数が減少したことから減収となりましたが、販売費及び一般管理費が減少したことにより、増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産の部]

当第1四半期連結会計期間末の資産の部合計は、180,936百万円(前期末比1.5%減)となりました。

流動資産は、現金及び預金が増加(前期末比16,958百万円増)した一方、商品が減少(前期末比15,189百万円減)したことや、受取手形及び売掛金が減少(前期末比2,662百万円減)したことなどにより、126,183百万円(前期末比1.5%減)となりました。新型コロナウイルス感染症の影響による来店客数の減少を見込み、在庫仕入れの抑制を実施した結果、商品が減少し、現金及び預金が増加しました。

固定資産は、建物及び構築物が減少(前期末比379百万円減)したことや、のれんが減少(前期末比241百万円減)したことなどにより、54,752百万円(前期末比1.6%減)となりました。

[負債の部]

当第1四半期連結会計期間末の負債の部合計は、139,809百万円(前期末比1.0%減)となりました。

流動負債は、その他が増加(前期末比4,275百万円増)した一方、買掛金が減少(前期末比2,642百万円減)したことや、前受金が減少(前期末比2,917百万円減)したことなどにより、54,752百万円(前期末比2.7%減)となりました。

固定負債は、長期借入金が増加(前期末比106百万円増)したことなどにより、85,056百万円(前期末比0.2%増)となりました。

[純資産の部]

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部合計は、利益剰余金が減少(前期末比975百万円減)したことなどにより、41,126百万円(前期末比3.4%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の連結業績予想は、当第1四半期連結累計期間の実績が想定通りの進捗であったため、2020年4月14日に公表しました「2020年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した数値から修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,295	54,254
受取手形及び売掛金	6,715	4,052
商品	79,119	63,930
その他	5,143	4,134
貸倒引当金	△158	△188
流動資産合計	128,115	126,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,000	36,720
減価償却累計額	△14,742	△14,842
建物及び構築物(純額)	22,257	21,877
車両運搬具	256	148
減価償却累計額	△21	△22
車両運搬具(純額)	234	126
工具、器具及び備品	4,196	4,186
減価償却累計額	△3,487	△3,495
工具、器具及び備品(純額)	708	691
土地	218	218
建設仮勘定	97	39
有形固定資産合計	23,517	22,952
無形固定資産		
ソフトウェア	1,877	1,844
のれん	10,911	10,670
その他	4,604	4,504
無形固定資産合計	17,393	17,019
投資その他の資産		
投資有価証券	152	151
関係会社株式	119	119
長期貸付金	13	13
敷金及び保証金	5,938	5,843
建設協力金	5,142	4,967
繰延税金資産	2,811	3,136
その他	625	595
貸倒引当金	△48	△47
投資その他の資産合計	14,756	14,779
固定資産合計	55,667	54,752
資産合計	183,783	180,936

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,002	18,359
短期借入金	935	927
1年内返済予定の長期借入金	11,079	11,040
未払金	4,034	4,228
未払法人税等	1,624	1,810
前受金	9,773	6,856
預り金	274	220
賞与引当金	823	122
商品保証引当金	662	675
その他の引当金	544	690
その他	5,544	9,820
流動負債合計	56,299	54,752
固定負債		
長期借入金	79,824	79,931
長期預り保証金	432	437
資産除去債務	2,633	2,582
繰延税金負債	1,386	1,375
その他の引当金	426	410
その他	193	319
固定負債合計	84,897	85,056
負債合計	141,196	139,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,157	4,157
資本剰余金	4,032	4,032
利益剰余金	38,773	37,798
自己株式	△3,947	△4,344
株主資本合計	43,016	41,643
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△889	△989
その他の包括利益累計額合計	△889	△989
新株予約権	3	3
非支配株主持分	456	469
純資産合計	42,586	41,126
負債純資産合計	183,783	180,936

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
売上高	90,206	83,724
売上原価	72,521	69,002
売上総利益	17,685	14,722
販売費及び一般管理費	16,174	14,875
営業利益又は営業損失(△)	1,510	△153
営業外収益		
受取利息	10	11
還付加算金	12	—
その他	19	17
営業外収益合計	43	29
営業外費用		
支払利息	340	247
為替差損	170	110
持分法による投資損失	83	53
その他	0	16
営業外費用合計	594	428
経常利益又は経常損失(△)	959	△552
特別利益		
補助金収入	22	386
その他	—	0
特別利益合計	22	386
特別損失		
固定資産除却損	184	154
店舗閉鎖損失	—	72
和解金	60	—
感染症関連損失	—	678
特別損失合計	244	905
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	736	△1,071
法人税、住民税及び事業税	774	178
法人税等調整額	△436	△356
法人税等合計	338	△177
四半期純利益又は四半期純損失(△)	398	△893
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△48	20
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	447	△914

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	398	△893
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△697	△89
持分法適用会社に対する持分相当額	45	△18
その他の包括利益合計	△651	△107
四半期包括利益	△253	△1,001
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△102	△1,015
非支配株主に係る四半期包括利益	△150	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はございません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2020年4月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,000,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が397百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が4,344百万円となっております。

(セグメント情報等)

I. 前第1四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	豪州	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高						
外部顧客に対する売上高	70,938	18,830	437	90,206	—	90,206
セグメント間の内部売上高又は 振替高	10	—	—	10	△10	—
計	70,949	18,830	437	90,217	△10	90,206
セグメント利益又は損失(△)	1,827	△171	2	1,659	△148	1,510

(注)1. 「その他」の区分には、米国の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△148百万円には、セグメント間取引消去18百万円及びのれん償却額△166百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2018年10月1日に行われたAndrews & Wallis Motor Group 5社との企業結合について、2019年2月期において暫定的な会計処理を行ってりましたが、前連結会計年度末に確定しております。これによりのれんの金額が2,084百万円減少しております。

II. 当第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	豪州	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高						
外部顧客に対する売上高	68,020	15,216	487	83,724	—	83,724
セグメント間の内部売上高又は 振替高	10	—	—	10	△10	—
計	68,031	15,216	487	83,735	△10	83,724
セグメント利益又は損失(△)	△136	172	△10	25	△178	△153

(注)1. 「その他」の区分には、米国の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△178百万円には、セグメント間取引消去△20百万円及びのれん償却額△158百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(資本準備金の額の減少)

当社は、2020年4月14日開催の取締役会において、2020年5月28日に開催の第26回定時株主総会に、資本準備金の額の減少の件に関する議案を付議することを決議し、同株主総会で承認可決されました。

(1) 資本準備金の額の減少の理由

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を減少させ、その他資本剰余金を増加させることにより、今後の柔軟かつ機動的な資本政策に備えるものであります。

(2) 資本準備金の額の減少の内容

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の全額を減少させ、その他資本剰余金に振り替えるものであります。

①減少する資本準備金の額 4,032,660,000 円

②増加するその他資本剰余金の額 4,032,660,000 円

(3) 日程

①取締役会決議日 2020年4月14日

②株主総会決議日 2020年5月28日

③債権者異議申述公告 2020年6月17日

④債権者異議申述最終期日 2020年7月17日(予定)

⑤効力発生日 2020年7月31日(予定)

(4) その他

本件は、「純資産の部」の勘定振替であり、当社の純資産の額の変動はなく、当社の業績に与える影響はありません。